



2024年3月8日

各位

会社名 キッズウェル・バイオ株式会社
代表者名 代表取締役社長 紅林 伸也
(コード番号: 4584 グロース)
問合せ先 経営企画部長 栗原 隆浩
(TEL. 03-6222-9547)

取締役及び監査役候補者の選任に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり取締役及び監査役候補者の選任について、2024年6月26日開催予定の第24回定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 取締役候補者

氏名	現役職名	新任・重任
くればやし しんや 紅林 伸也	取締役	重任
みたに やすゆき 三谷 泰之	執行役員 研究本部長	新任
えいき のりかず 栄木 憲和	取締役	重任
にしおか さちこ 西岡 佐知子	—	新任

(注) 栄木憲和氏及び西岡佐知子氏は、会社法に定める社外取締役候補者であります。

2. 監査役候補者

氏名	現役職名	新任・重任
すがわら おきむ 菅原 治	監査役	重任
もり まさと 森 正人	監査役	重任
しながわ ひろし 品川 広志	監査役	重任

(注) 森正人氏及び品川広志氏は、会社法に定める社外監査役候補者であります。

3. 新任取締役候補者の氏名及び略歴

氏名 (生年月日)	略歴
みに たいに やすゆき 三谷 泰之 (1973年10月18日)	1996年3月 京都大学薬学部卒業 1998年3月 京都大学大学院薬学研究科 修士課程修了 1998年4月 藤沢薬品工業株式会社（現アステラス製薬）入社 2013年10月 東京大学大学院薬学系研究科にて博士号取得 2015年2月 シンシナティ小児病院医療センター（米国）留学 2017年9月 Buck Institute for Research on Aging（米国）出向 2019年4月 株式会社ジーンテクノサイエンス（現キッズウェル・バイオ）入社 2021年2月 同社 事業開発部長 兼 再生医療事業ユニット長 2023年6月 同社 執行役員 研究本部長
にしおか きちこ 西岡 佐知子 (1964年1月26日)	1986年7月 日本航空株式会社 入社 1988年4月 フリーランスアナウンサー 2000年6月 米国ダラス大学 経営学修士課程（MBA）修了 2000年10月 株式会社セゾン情報システムズ 経営企画室 主任 2002年8月 株式会社パブリシス（ピュブリシス・ジャパン KK）ストラテジックプランナー 2006年7月 ギャビン・アンダーソン・アンド・カンパニー・ジャパン・インク（現クレアブ） ディレクター 2011年9月 一橋大学 非常勤講師（現職） 2012年3月 株式会社プラスナコミュニケーションズ設立 代表取締役（現任）

4. 新任取締役候補者の選任理由

三谷泰之氏は、当社が、2019年に乳歯歯髄幹細胞（SHED: Stem cells from Human Exfoliated Deciduous teeth）を活用した細胞治療事業に参入して以降、複数のアカデミアとの共同研究を立ち上げ、パイプライン構築をリードしてまいりました。さらに、2021年からは再生医療事業ユニット長、2023年からは執行役員 研究本部長として、当該事業の戦略策定、研究開発を統率し、特許出願、マスターセルバンク構築、脳性麻痺研究の臨床ステージアップなど、実績を重ねてまいりました。なお、同氏は2024年4月1日に設立予定の当社完全子会社である株式会社 S-Quatre の代表取締役社長に就任予定であり、当社が承継する細胞治療事業は、当社グループ全体の成長戦略の要であることから、グループ経営全体についても、取締役の立場で業務執行することが最適と判断しております。

西岡佐知子氏は、メディア、広告、広報といったコミュニケーション領域における長年の経験を持つとともに、企業におけるコミュニケーションを経営機能として捉え、ステークホルダーとの良好な関係構築を通じた事業機会の最大化の支援を目指して自身が代表を務める法人を設立するなど、幅広い企業のコーポレートコミュニケーション活動に携わってきました。同氏は、これらの経験をベースとした豊富な知識を有しており、当社がバイオンシミラー事業の継続的な成長やSHEDを基盤とした細胞治療薬の研究、臨床開発及び国内外での事業化を推進するにあたって、その専門性に基づく有用な意見・提言をいただくことが期待できます。また、独立した公正かつ多様な視点で当社の業務遂行を監督する役割に適していると判断したことから、社外取締役候補者としてしました。

5. 就任予定日

2024年6月26日（第24回定時株主総会開催予定日）

6. 退任予定取締役

氏名	現役職名
川上 雅之	取締役

取締役川上雅之は、当社取締役を退任後に当社従業員として入社し、引き続き執行役員開発部長として臨床開発を担当する予定です。

以 上